

高遮光資材の摘採前短期被覆による生葉品質の向上

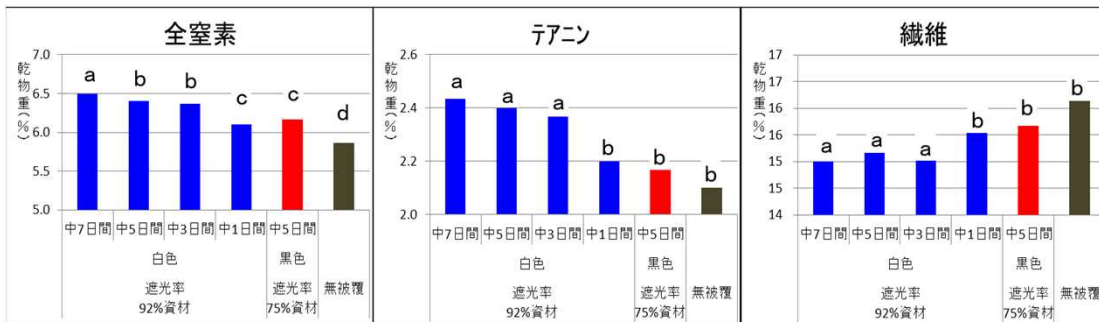
高遮光資材の3日被覆は慣行被覆資材の5日被覆と同等の品質向上効果

背景・目的

- 茶は摘採前に被覆することで品質が向上しますが、長期被覆すると樹勢が低下します。
- そこで、短期被覆での品質向上効果について検討しました。

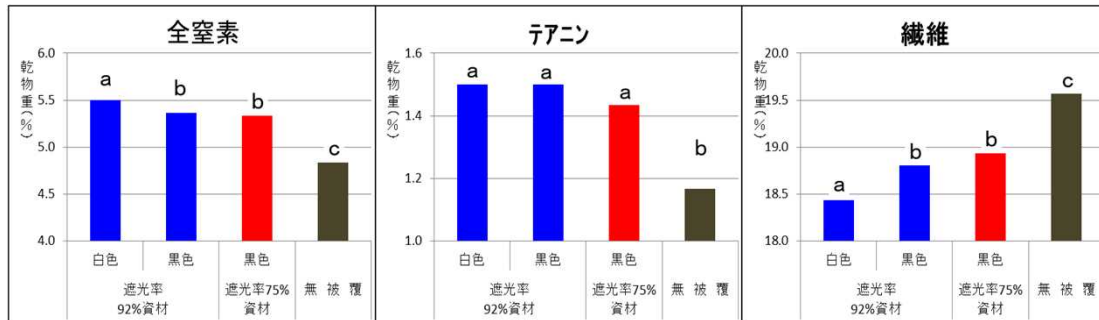
成果の内容

- 一番茶では、高遮光資材(遮光率92%、表面白色)を用いて中3日間以上被覆することで、荒茶成分が向上し、その効果は慣行の被覆資材(遮光率75%)の中5日間被覆と同等以上です(図1)。
- 二番茶では、表面黒色よりも白色の方が、荒茶の品質向上効果が高いことが分かりました(図2)。



注) 各項目の同一英文字間に有意差なし (Tukey's test $p < 0.05$)

図1 被覆資材の遮光率、表面色、被覆日数の違いによる一番茶の化学成分



注) 各項目の同一英文字間に有意差なし (Tukey's test $p < 0.05$)

図2 表面色と遮光率が異なる資材を用いて中5日間被覆した場合の化学成分

○全窒素とは
おいしいお茶ほど多く含まれる成分。

○テアニンとは
お茶の旨味成分で、含まれる量が多いほど旨味の強いお茶となる。

○繊維とは
数値が大きいほど茶の葉が硬く品質が劣る。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 高遮光資材を用いて中3日間被覆することで、慣行資材の中5日間被覆と同等以上に品質が向上し、被覆が短期間であることで樹勢の低下を抑えることができるため、有機栽培でも利用可能な技術です。
- 普及対象地域・面積 県内全域の茶園(有機栽培茶園でも利用可能です)。

留意点

- 高遮光資材の長期被覆は茶樹の樹勢低下を招く可能性があるので注意してください。
- 今試験は、場内の「みやまかおり(慣行栽培)」を用いて行った結果です。